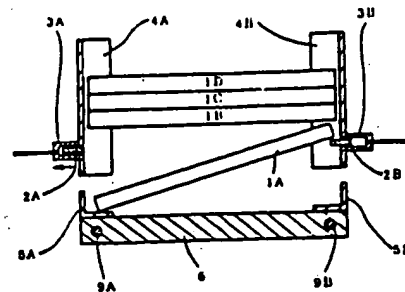


(54) SEPARATE SENDOUT DEVICE FOR CASE

(11) 63-171714 (A) (43) 15.7.1988 (19) JP
(21) Appl. No. 62-1385 (22) 7.1.1987
(71) ANIKO ELECTRIC CO. LTD. (72) MORIARI SEIKIGUCHI
(51) Int. Cl. B65G59/06

PURPOSE: To prevent variation of case orientation at the time of taking out, by supporting the second lowermost one of the cases placed in a guide, releasing either of the stoppers in a pair on the right and left supporting the bottom case, bearing the end of the case with a receiving member, and then releasing the other side.

CONSTITUTION: Cases 1A~1D are accommodated in guides 4A, 4B, and the bottom case 1A is supported by stoppers 2A, 2B, and the second lowermost case 1B is borne by another stopper, out of illustration. In this condition, the stopper 2A is released in the direction of arrow using a stopper drive mechanism 3A. Thereby one of the ends of the case 1A drops onto a case receiving member 5A. Then the stopper 2B is released by another stopper drive mechanism 3B. Thus the case 1A drops completely on the case receiving member 5A. The stoppers 2A, 2B are returned to the work position, and the case shall be sunk step by step. This prevents the case orientation from varying.



6: traveling table

⑤ 日本国特許庁(JP)

⑥ 特許出願公開

⑦ 公開特許公報(A) 昭63-171714

⑧ Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑨ 公開 昭和63年(1988)7月15日

B 65 G 59/06

1 0 3

7140-3F

審査請求 有 発明の数 1 (全3頁)

⑩ 発明の名称 ケースの個別送り出し方法

⑪ 特 願 昭62-1385

⑫ 出 願 昭62(1987)1月7日

⑬ 発 明 者 関 口 守 亮 東京都大田区蒲田4丁目19番7号 安藤電気株式会社内
⑭ 発 明 者 山 下 幸 男 静岡県浜北市中瀬7581-1 安藤電気技術サービス株式会
社内

⑮ 出 願 人 安藤電気株式会社 東京都大田区蒲田4丁目19番7号

⑯ 代 理 人 弁理士 小俣 欽司

明 細 書

1. 発明の名称 ケースの個別送り出し方法

2. 特許請求の範囲

1 第1のガイド(41)と第2のガイド(42)の中に一定の向きに積み上げられたケースのうち、最下位のケース(11)を第1のストッパ(21)と第2のストッパ(22)で支え、前記最下位のケース(11)の一つ上のケース(12)を第3のストッパで保持し、第1のストッパ(21)と第2のストッパ(22)を解除することにより前記最下位のケース(11)を第1のケース受け(51)と第2のケース受け(52)に落下させ、次に第1のストッパ(21)と第2のストッパ(22)を解除し、第3のストッパを解除して前記最下位のケース(11)の一つ上のケース(12)を第1のストッパ(21)と第2のストッパ(22)で支えるようにしたケースの個別送り出し機構において、

前記最下位のケース(11)を第1のストッパ(21)と第2のストッパ(22)で支え、前記最下位のケース(11)の一つ上のケース(12)を第3のストッパで保持した状態で、第1のストッパ(21)だけを解除

して前記ケース(11)の一端を第1のケース受け(51)に落下させ、前記ケース(11)の一端が第1のケース受け(51)に入った状態で第2のストッパ(22)を解除して前記最下位のケース(11)の他端を第2のケース受け(52)に落下させるようにしたことを特徴とするケースの個別送り出し方法。

3. 発明の詳細な説明

(a) 発明の技術分野

この発明は、部品などを収容したケースを複数個積み重ねておき、部品の特性測定などのため、ケースを一つずつ送り出す場合に、ケースを確実にケース受けに送り出すようにするケースの個別送り出し方法についてのものである。

(b) 従来技術と問題点

従来技術の構成を第1図と第4図を参照して説明する。

最初に、各部の構成を説明する。

1 A ~ 1 D はケース、2 A と 2 B はストッパ、3 A と 3 B はストッパ駆動機構、4 A と 4 B はガイド、5 A と 5 B はケース受け、6 は移送台、7

特開昭63-171714 (3)

図 1 図

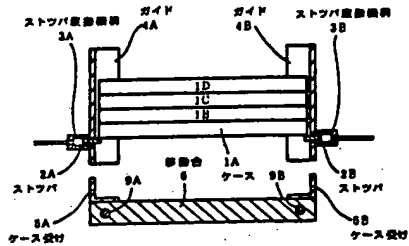


図 2 図

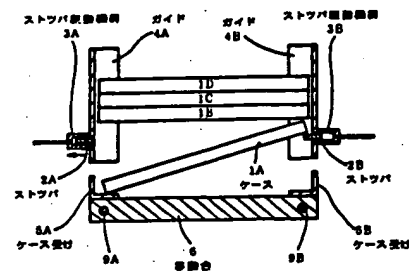


図 4 図

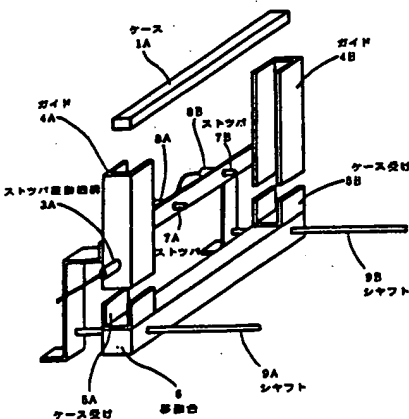
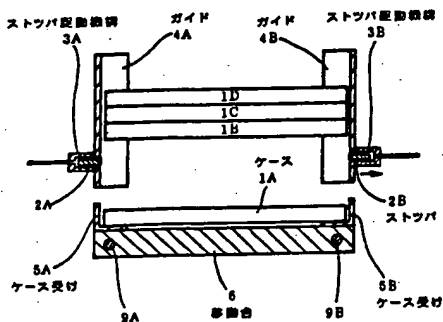


図 3 図



らストップバ2Bを解除するようにしているので、ケース1Aなどをケース受け5A・5Bの上に落下させても、ケース1Aなどの向きが変わらないようにすることができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図～第3図はこの発明によるケースの個別送り出し方法の説明図、

第4図はケースの個別送り出し機構の斜視図。

1A～1D—ケース、

2A・2B—ストップバ、

3A・3B—ストップバ駆動機構、

4A・4B—ガイド、

5A・5B—ケース受け、

6—移動台、

7A・7B—ストップバ、

8A・8B—ストップバ駆動機構、

9A・9B—シャフト。

代理人 弁理士 小 泉 敏 司